

文部科学省のESDの取組について(高等教育)

平成20年9月29日

文 部 科 学 省

○質の高い大学教育推進プログラム

平成20年度予算額:現代GP選定分 3,849 百万円の内数

平成19年度までに現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)の公募テーマ「持続可能な社会につながる環境教育の推進」で選定された取組を継続的に支援。

(選定取組例)

すべての教養科目に ESD の内容を織り込み【岩手大学】

○サステナビリティ学連携研究機構

平成20年度予算額:33,800 百万円の内数

東京大学が統括機関となり、東京大学、京都大学、大阪大学、北海道大学、茨城大学に研究拠点を形成し、その他の協力機関とともにサステナビリティ学分野のネットワーク型研究拠点「サステナビリティ学連携研究機構」を共同で構築する。

○G8大学サミットの開催支援

平成20年度予算額:50 百万円の内数

北海道洞爺湖サミットに合わせ、6月末に札幌市で、気候変動に代表される地球環境問題等の人類の生存に係る地球的規模の課題に対し、地球・社会・人間システムとその相互関係の持続可能性の達成、ESDの推進等に関する学術界からの国際貢献を目指し、「グローバル・サステナビリティと大学の役割」をテーマに大学サミットを開催。